

第2回伊賀市総合計画審議会（Bグループ）議事録

開催日時	2019（令和元）年10月7日（月）13:30～17:00
開催場所	伊賀市役所本庁405会議室
出席委員	<p>乾 光哉（【1号委員】伊賀市社会福祉協議会）</p> <p>小坂 元治（【1号委員】伊賀上野観光協会）</p> <p>澤野 政子（【5号委員】女性リーダー）</p> <p>○藤巻 恵（【1号委員】伊賀市地域交通活性化再生協議会）</p> <p>※ ○はリーダー</p>
会議日程	<p>1 あいさつ</p> <p>2 外部評価</p> <p>（1）13時35分～14時35分 1-2-③高齢者支援（健康福祉部）</p> <p>～休憩（5分）～</p> <p>（2）14時40分～15時40分 3-3-①中心市街地活性化（産業振興部）</p> <p>～休憩（5分）～</p> <p>（3）15時45分～16時45分 6-2-③スポーツ（企画振興部）</p> <p>※（1）～（3）のそれぞれ1時間の内訳は次のとおり</p> <p>（a）市の担当者より施策の内容および施策評価シートを説明（約10分）</p> <p>（b）外部評価委員が説明に対して質問や確認、補足説明を要請し、担当が回答（約15分）</p> <p>（c）外部評価委員が説明内容に対する所見、助言、提言等を行う（約25分）</p> <p>（d）外部評価委員の意見をまとめ、委員会として評価を行う（約10分）</p> <p>3 その他</p>
会議進行	<p>開会</p> <p>（事務局） 定刻になりましたので、これより、Bグループによる外部評価をはじめさせていただきます。最初に総務部長の稲森よりご挨拶をさせていただきます。</p> <p>1 あいさつ</p> <p>（総務部長） 本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>伊賀市の外部評価は試行実施として今年度で4年目を迎えました。皆様方のご協力をいただきながら、市が実施する基本施策の評価に対する客観性や透明性を高めつつ、市職員の意識改革と事務事業の見直しに取り組んできたところです。</p> <p>制度として一定の構築が図れてきたのかなと感じています。</p> <p>先の総合計画審議会でもご説明させていただきましたが、今、伊賀市は、平成29年度から令和2年度までを計画期間とする「伊賀市第2次再生計画」の目標達成に向け、取り組んでいます。</p> <p>この「伊賀市第2次再生計画」は47の基本施策で構成されており、これら基本施策の</p>

下には合計で約 500 の事務事業が存在しています。事務事業については、それぞれ担当の所属長が評価を行い、その結果を踏まえ、47 の基本施策に対しては関連の部局長が評価をする仕組みとなっています。

今回皆様をお願いいたしますのは、基本施策について、部局長が行いました評価が適正であるかをチェックしていただくという作業です。

いわゆる市民目線による客観的な視点での評価は、時代の流れや市民ニーズを的確に把握し、事業の見直しと改善を推進するためには必要不可欠と考えており、大変期待を寄せているところです。

関係部局の説明を聞いていただき、各部局が適正に評価を行っているのか、委員皆様のそれぞれの視点から、忌憚ない御意見を頂きたいと思えます。

本日は長時間に及びますが、よろしくお願いいたします。

2 外部評価

(事務局)

本日、使用します資料は、主に行政経営報告書となります。その他、各施策を構成する主な事務事業にかかる事務事業評価シートと、皆様から事前にいただきました質問に対する回答につきましては、事前に送付させていただいておりますが、本日、予備を用意させていただいておりますので、お持ちでない方は申し出ください。

稲森総務部長のあいさつにもありましたが、本日の外部評価は、行政が行った評価が適正であるかという点をチェックしていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の日程ですが、本日は3施策について評価を行っていただきます。1施策、約1時間を予定しており、内容としましては、始めに、「市の担当者より施策の内容および施策評価シートを説明」で約10分、「外部評価委員が説明に対して質問や確認、補足説明を要請し、担当が回答」で約15分、「外部評価委員が説明内容に対する所見、助言、提言等を行う」で約20分、ここで市の担当者は退室し、「外部評価委員の意見をまとめ、委員会として評価を行う」で約15分の合計1時間を予定しております。飽くまで目安ですので、時間配分につきましてはグループリーダーにお任せいたします。時間内に終了できるよう調整をお願いします。

1施策終了ごとに約5分の休憩を設け、健康福祉部、産業振興部、企画振興部の順で、施策ごとに、説明から質疑応答、評価までを行っていただきます。

最終、グループリーダーからグループの意見をまとめた外部評価書を提出いただきます。外部評価書は皆様全員のお手元に配らせていただいております。リーダー以外の方につきましては、評価の際のメモ等にご利用いただければと思います。本日、皆様に評価いただいた結果は他のグループの評価結果と合わせ、外部評価報告書(案)として取りまとめます。

それでは、以降の進行をグループリーダーである藤巻委員にお任せしますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

1号被保険者のうち介護保険認定を受けていない人の割合が増加しているこ

とについては、介護保険サービスの高齢者が元気で活動できる施設や取組の充実によるものと理解できた。

少子高齢化に伴い、今後は60歳未満の市民の割合が4割となる中で、60歳未満の方の満足度についてのアンケートや周知が必要である。

事業が多様に広がっていることに対して、指標が少ない。

介護保険サービスについてはサロン事業が活発に行われているが、高齢者が健康でコミュニケーションを図りながら、また、地域の高齢者の見守りに繋がるので、今後はさらに市と連携をした具体的な運用施策を望む。

課題解決に向けた取り組みなどを具体的に示してもらいたい。

市役所移転による中心市街地活性化のビジョンが全く施策に反映されていないため、中心市街地の空洞化が加速度的に進行している。

旧市役所の利活用に関して、図書館、忍者研究施設、芭蕉記念館、総合福祉センター、上野ふれあいプラザといった中心市街地活性化施策がビジョンの無い状態で放置されている。

成果指標が回遊者数以外はあまり意味の無い指標である。

中心市街地活性化に向けてはポケットパークや南庁舎整備事業などの大きな事業に取り組んでいるところであるが、計画中的であるため、成果指標の結果からも市街地活性化は進んでいない現状である。

第2期伊賀市中心市街地活性化計画を策定する前に、市として中心市街地活性化ビジョンを明確に示し、スピード感を持って取り組んでもらいたい。

旧市役所の活用では、スピード感が無く、早急に計画を策定すべきであり、旧市役所の今後の方向性が決定されないことには、ランドデザインが描けない。

南庁舎整備事業などの大きな基盤事業だけでなく、空き家対策など賑わいを創出するための検討をされていることには評価できる。

指定管理者制度導入に伴い民間活力の導入が図られたとしているが、各施設で利用者の増減に差がある。

指定管理者制度への移行後の効果検証がされていない。

成果指標について、スポーツイベントの参加者数だけでなく、スポーツ施設の修繕状況が分かる指標を加えてもらいたい。

とこわか国体で利用する施設の整備を充実してもらいたい。

とこわか国体終了後の施設について、ネーミングライツなどを活用するなど民間企業を取り込んだ運営を進めてもらいたい。

2020年度に行われる東京オリンピックへの盛り上がりが2021年度のとこわか国体へ繋げる取り組みが必要である。

(事務局)

申し訳ございませんが、今回の外部評価は、行政が行った評価について適正であるかどうかチェックいただくこととしております。今の質問はまた別の機会でお願いいたします。

皆様、お疲れさまでした。藤巻委員、長時間に渡り進行をいただきありがとうございました。本日、評価いただきました内容を外部評価報告書（案）としてまとめ、10月30日の総合計画審議会でお諮りさせていただきます。

審議会で承認をいただきました後に、後日市長へ答申を行う予定です。

3 その他

続きまして、その他についてですが、皆様からご意見、ご質問などいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

以上よろしいでしょうか。

本日は長時間に渡りご審議いただきありがとうございました。これで本日の施策外部評価を終了させていただきます。ありがとうございました。